

議論すべき論点（案）

物流事業者・荷主に係る取組を行ってきているが、2024 年問題やカーボンニュートラルへの対応など、今までの効率化の取組を超えた、更なるサプライチェーンの最適化が不可欠。

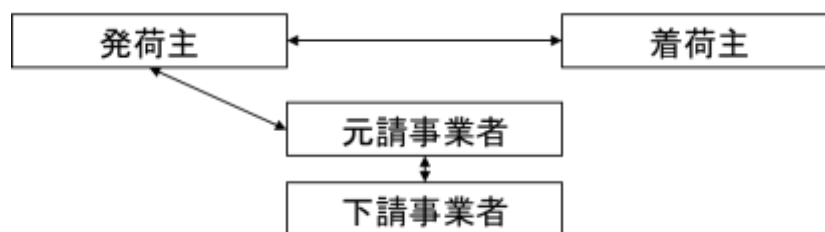
そのための課題としては、下記の事項が考えられる。

①労働時間規制による物流への影響

②物流の危機的状況に対する消費者や荷主企業の理解が不十分

③非効率な商慣習・構造是正、取引の適正化

（発荷主～物流事業者、元請事業者～下請事業者、発荷主～着荷主）



④着荷主の協力の重要性

⑤物流標準化・効率化（省力化・省エネ化）の推進に向けた環境整備